



東京タイムズ
ヨリ
摘譯

峯源次郎

2801



114
A4684



狡智ノ浸染スルニ付テノ論說

居留外國人ノ制度ヲ以テ日本人ノ信用セザル
國ヨリ疑フ容レサルナリ蓋シ外國人ハ此說ニ
服セサルモノアルニモセヨ之レヲ例奉スレハ
日常民間ノ寒暄ヲ噴ゲル談話ノ際ニ往々其不
信ヲ議スルモノアリ之ニ加フルニ猶ホ詳明ナル
証拠ヲ舉レハ官負社會ヲ唱フル所モ亦タ然リ
且ツ上ホセル書冊上ニ於テモ其不信ヲ討論ス
ル一ニシテ止マザルナリ
若シ適タマ茲ニ其不信ナル一大事件ノ生スル

大正十一年四月
隈侯爵寄贈

アラハ直チニ彼ノ洋人輩ハ大ニ憤怒ヲ發シ之
ヲ抗論辨駁スベシ然レモ其論多少取ルヘキ理
由アルニモセヨ到底強テ令名アル類例ヲ奉ケ
以テ相互ニ称讚呵護シ且ツ驕傲自尊ノ心ヲ以
テ偏頗ノ私論ヲ構成スルニ過サルノ之蓋シ右
ノ人等ハ固ヨリ心裏ニ其非ヲ知ルアルモ其論
ノ肯綮ニ適中セサルヲ省ミサルモノナリ
然リ而シテ該論ノ返響ハ消滅スルアルモ其固
有ノ景況ハ之レト共ニ磨滅セズ衆人ノ心ハ泛
々焉トシテ自証スルニ由ナク依然トシテ曰ノ

如ク留マルヘシ

縱然右ノ如ク雄辯高論カニ尽シ以テ日本人ヲ
シテ實ヲ洋人ヲ信セシメント欲スルモ其果シ
テ成績アルヤ否々ハ我輩自カラ之レヲ保証シ
得サルヲ如何セン我輩自反シテ信義ニ悖ラサ
リセハ他人ノ千百交モ之レヲ謗議スルアルモ
豈ニ其レ天然ノ白玉ヲ汚ス丁ヲ得ンヤ是レ果
シテ真理ノアル所ナリ

我輩虚襟以テ該事件按スルニ洋人ノ信ヲヨ内
ニ省ミレハ縱然之レヲ口外ニ吐露スルニ忍ビ

サルモ貿易上ニ不善ノ所為アルアリテ我社會
按スルニ居留洋人ノ中ニ盛ニ行ハル、ヲ知認セサル
ヲ得ス是レ終ニ其所生ノ國名ヲ辱シムヘキ陋
弊ニシテ國ヲ憂フルモノ其レ誰カ寒心セサラ
ンヤ

而シテ居留外國人ハ總テ日本國人(官民トノ
問ハス)トノ
關係ニ就テ上等ノ人物タリトモ卑奴視セラレ
ハキ取引ニ為スト往々ニシテ之レアリ是レ政
米諸邦ニ於テハ寧ロ真事ナキニモセヨ世ニ容
レサル所ナリ即チ其卑劣ノ處置タル今税関ノ

人名記録ヲ一見セハ其忌ムヘキ事件ノ充塞ス
ルアルヲ見ルヘキナリ而シテ縱然世ノ知ル所
リタルモ敢テ貿易徳義上ノ破廉恥トモ見エサ
ル所亦々無キニシモ非サレバ其過半ハ偏頗ナ
ル秘匿ノ所為ヲ以テ之レヲ掩蔽セリ
日本ニ於ケル外國貿易人ノ中ニ縱然其過半ハ
断乎トシテ右等ノ狡智ニ黨与セサルナリト証
明スルモノアルモ果シテ何ノ功績カアル辨論
之レカ績ヲ觀ント欲スルモ獨リ理ニ於テ或ハ
然ルアルノミ固ヨリ其宜シカラサル所業ヲナ

スニ当リテ若シ特立シテ侃々諤々陳シ之レヲ
禁制スルモノナク又々輿論モ之ヲ不問ニ措テ
罰セス其昏迷ノ行路ヲ守株セシメ依然トシテ
之レヲ履行セシムルニ於テハ居留洋人全社會
ノ声價終ニ地ニ落ツルニ至ハ必然ノ勢ナリ
日本人民ノ胸裏ニ居留人ノ声價ハ右ノ如ク汚
辱ヲ蒙レリ然ル上ハ縱然一時熱心シテ如何ニ
克己潔白ノ處置ヲナストモ其実効ヲ奏スル能
ハサルナリ浸染ノ漸甚シト謂フヘシ
夫レ右ノ如キ事弊ヲ誘致セシ原因ニ遡リ之レ

ヲ考究スルハ今我輩ノ先務トスル所ニ非サル
ナリ獨リ我輩ノ関涉スル所ハ弊害アル先例ノ
為ト社會ノ中等以下ニ生スル結果是レナリ
日本ト交際ニ就テ泰山北斗ト瞻望セラル、上
等人物ノ内ニ於テ自カラ其清廉方正ヲ破ラサ
リセハ其下等ノ人物ニ於テ弊害ノ蔓延スル規
律ノ放壞スル豈ニ今日ノ如キ点ニ至ラント欲
スルモ其レ得ヘケンヤ
他ニ已レヨリ一層隆盛ナル好機會ヲ抱懷シ且
ツ著明ナル地位ニ在リテ先倡者トナルモノア

レハ之レニ見習ヒ其所為ヲ模倣シ遂ニ禮讓ヲ
モ忘却スルニ至ルハ一凡ノ人情ナリ然ルキハ
社會ノ傷害ヲ養成スルモノナリ元來社會ナル
モノハ其制度ノ令名世ノ知認スル所トナルニ
非サリシヨリハ縱然其社會ノ裡ニ一ニ金玉ノ
君子アリトモ安クンゾ能ク一寸ノ膠ヲ以テ黃
河ノ水ヲ澄清ナラシムルヲ得ンヤ

正直ノ界線ヲ履ミ違ヘタル小人輩ノ心ハ令聞
廣譽ヲ占メタル大人君子ノ思想ト反シ徒手ニ
シテ利ヲ貪リ已ヲ責メスシテ常ニ他人ノ所為

ヲノミ模倣スルノ陋習アルモノナリ

然リ而シテ殊更不善ナル事業ヲ模倣スルハ猶
以是馬ノ如ク能ク停止スルモノ殆ント稀ナリ
抑モ其結果ノ如何ヲ尋マルニ貿易ノ事務ニ於
ケル徳義大ニ破壊シテ終ニ全社會衰頹ノ極ニ
至ランノミ

方今居苗人ノ情態ヲ觀ルニ其尤モ困難ナル景
況ニ至リテハ方正ト詐偽ト存シク一地位ニ雜
居セルモノ、如シ將々寧口謂ハン正直ナル人
ハ不便ノ中ニ勞苦シ無頼者ノ為ニ其衣食ヲ給

スルト凡ソ居苗地ノ如キ社會ニ於テハ其過半
ノ數ハ並ミノ生活ヲ營ナムニモ苦慮スル程ノ
勢ナレハ今記述スル該困難ハ實ニ今日此社會
人中ノ上等ノ人物ニ歸スルナリ右ノ如キ衆多
ヲ保持シ且ツ為ニ實有ノ要請ヲ備ヘ且ツ多少
ヲ論セサルモ其負債ヲモ消還スヘキ勢ニ迫レ
リ然レモ日本政府ハ之レヲ救恤スルニ関涉セ
ズレハ諛事ヲ處分スルノ責任ハ獨リ居苗人ノ
手ニ落ツルナリ而シテ切迫セル不善人ノ輩ハ
各自ノ負債ニ應スル能ハス又タ之レニ應セス

且ツ之レニ應スルヲ欲セサレハ其責ハ終ニ擔
任シ得ル者即チ之レニ應セサルヲ得サル者ノ
頭上ニ落ツルナリ之レヲ詳説スレハ正直ナル
人ハ罪人及ヒ奢侈家ヲ支救スル為ニ苦心シ身
ヲ殺シテ仁ヲナサザルヲ得サルノ点ニ至レリ
中等ノ商人中ニモ拐^{カッ}兒ノ術中ニ落イリ為換券
約束券等ニ付キ不都合ヲ生シ遂ニ名望アル人
ノ難澁トナラサルモノ殆ント稀ナリ
故ニ上等ノ名望アル人ハ其金囊ヲ聞クニ當リ
テ常ニ其拂渡スヘキ筋ニ非サルヲ知了スル

モ右願望ノ已ヲ得サルニ累ルナリ
右記述スル所ノ事件ハ豈ニ其レ惡弊ト謂ハザ
ル可ケンヤ且ツ將來ノ見込モ亦タ之レニ彷彿
タルモノナリ是レ蓋シ衆人ノ尋常貨幣上ノ取
引ヲ忽畧ニスル所ニ出ツルト多ニ居ル故ニ諸
人ノ右取引ヲ等閑ニ處スル以内ハ此惡弊ヲ改
良スルノ期得テ望ムベカラサルナリ
然リト虽モ商人ノ如キニ至リテハ直接ニ其弊
害ヲ蒙ムルモノナレハ儼爾ノ法ヲ設ケ諛弊ヲ
匡拂スル何ノ難キトカ之レアラシ夫レ風俗美

ナラサルハ公衆ノ不幸ナリ是レ衆ヲ率ヒテ竊
盜詐偽ヲ學ハシムルノ媒介トナレハナリ
然リト虽モ其崩計ハ本ト奸魔ヨリ生スル所ニ
シテ尋常ノ人ヲ欺ムキ得ルモ真正ノ經濟家ニ
至リテハ豈ニ其レ之レヲ欺ムクヲ得ンヤ夫レ
經濟家ハ能ク世ニ其業ヲ貫徹スルモノナリ故
ニ横濱ニ在苗スル各商人此旨ニ拠リ彼崩計ニ
對シ決意抗拒セバ獨リ自己一身ノ為ノミニ非
ラス普ク公衆ノ為ニ尽クス公義トナルハ固ヨ
リ論ヲ待タサルナリ

故ニ社會一同同盟シテ終テ小賣ノ賒賣ヲ謝絶
スルアラハ必ス右弊害ヲ匡拂センハ六月ヲ
過キサルニ其績蓋シ觀ルヘキモノアラシ此議
固ヨリ世間ニ對シテ信義ヲ挽回セン為ノ事ニ
ノミ要スルニ非ラス更ニ一步ヲ進メテ論セハ
右同盟ニ依リテ懲膺セハ怠慢ナル懦夫モ已レ
ヲ責メ蹶然自カウ憤起シ既往ノ如キ社會ニ益
ナキ所業ヲ擲テ額ニ汗シテ衣食スルノ本旨ヲ
省晤スベシ
人タルモノ、其貨財ヲ費用スル所以ノモノハ

妻子親族ノ外社會ノ公益ヲ圖ナルニ歸スルモ
ノナリ蓋シ無益ニ之レヲ消費スルモノナキナ
リ
然リト虫氏弊害ヲ抗拒匡正スルヲ畏懼シ依然
前ニ仍リ弊ヲ踵キ尤ニ效フノ景況アルヲ觀ル
ルハ匡拂改良ノ期將タ何レノ時ニアルヲ知ル
ベカラサルニ似タリ然リ而シテ弊害ハ火ノ原
ニ燃ユルカ如ク愈イヨ益マス撲滅スベカラサ
ラントス然ラハ則チ其結局將タ何ソノ停止ス
ル所ソヤ然リ而シテ全社會ノ信義ヲシテ四方

夫
ニ光被セシメント欲ス豈ニ其レ得ヘケンヤ悲

